

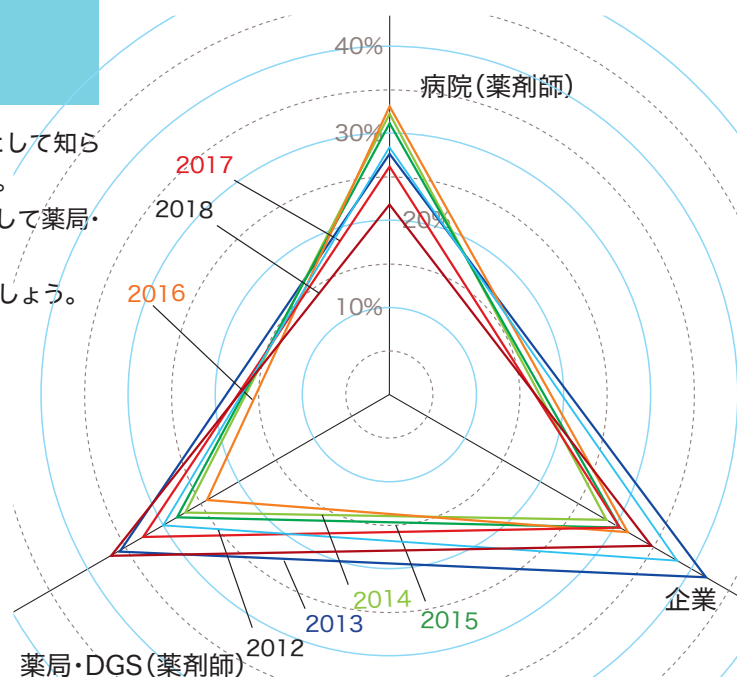
# 京都薬科大学

病院、薬局・ドラッグストア、企業のバランスがとれた就職実績として知られていますが、特に指導や調整をしているわけではないといいます。

2018年卒の実績は、実数・比率ともに病院が減少しました。比例して薬局・ドラッグストアの数値が拡大しています。

キャリア支援の立場からみれば、病院の減少は気になるところでしょう。

2018年7月時点で、就職先一覧は以下が公表されています。



## 2018年3月卒業生の就職先一覧 薬学科

●医療機関・特定機能病院

●医療機関

●製薬・上位20社

塩野義製薬

アステラス製薬

大塚製薬

●製薬・国内上位

日本新薬

●製薬・兼業メーカー

●製薬・化学など

●CROなど

クインTAILズ・トランス

ナショナル・ジャパン

●調剤薬局

阪神調剤薬局

総合メディカル

●ドラッグストア

マツモトキヨシ

イオンリテール

ウエルシア薬局

●その他

●一般企業

●行政(公務員)

薬学科の就職分野

年	卒業生	進学	研修生	就職希望	就職者	就職率	病院		薬局		DGS		企業		公務員	
2012	320	10	5	305	301	99%	88	28.9%	75	24.6%	15	4.9%	114	37.4%	9	3.0%
2013	356	9	2	345	342	99.1%	95	27.5%	99	28.7%	22	6.4%	110	31.9%	16	4.6%
2014	325	9	2	314	293	93.3%	101	32.2%	80	25.5%	9	2.9%	87	27.7%	16	5.1%
2015	366	11	3	352	329	93.5%	111	31.5%	76	21.6%	22	6.3%	106	30.1%	14	4.0%
2016	363	3	2	358	337	94.1%	120	33.5%	62	17.3%	24	6.7%	113	31.6%	18	5.0%
2017	360	15	1	344	330	95.9%	90	26.2%	113	32.8%	0	0.0%	106	30.8%	21	6.1%
2018	335	10	0	325	310	95.4%	74	22.8%	117	36.0%	0	0.0%	111	34.2%	8	2.5%

薬系進学の就職アンケートには、「就職・進学を希望せず」の項目がありますが、公平を期すため「就職希望者数」は、卒業生数から進学者と研修生を減じた数値としています。また2018年から、研修生を病院就職者に加えました。レジデント(有給)が中心になり、採用を前提としたものに変化しているためです。